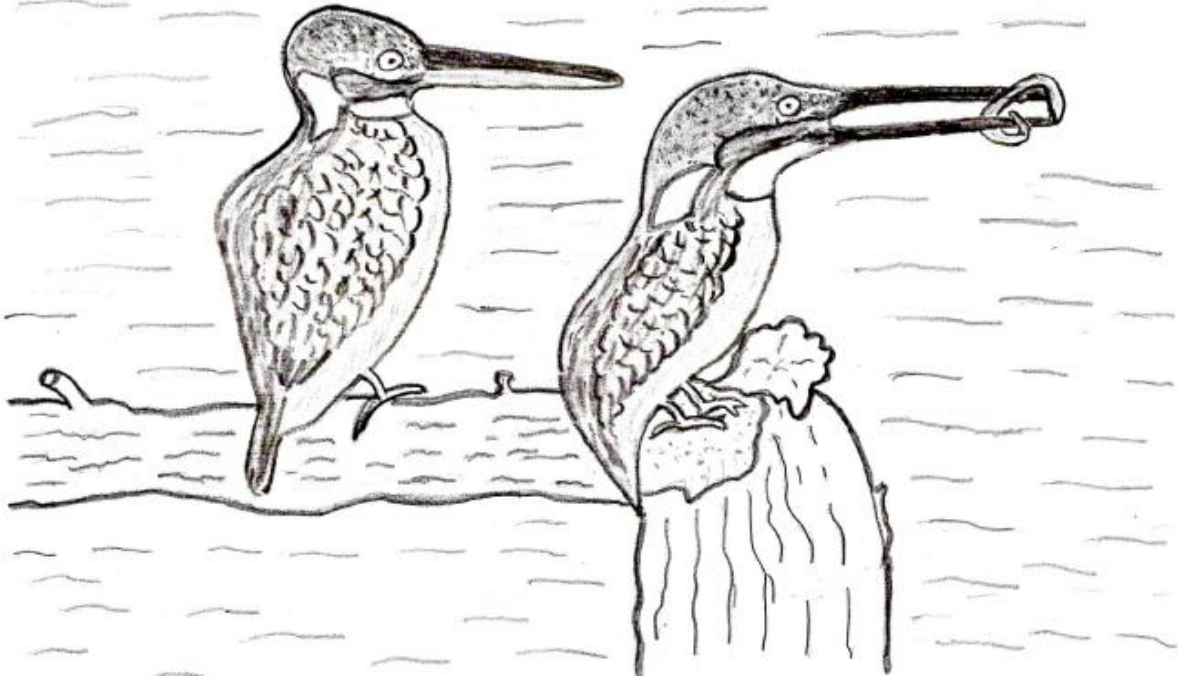




# ゴロスケ報々



イラスト：森の絵本づくりの会 志釜

## ●速報 第26回横浜環境活動賞受賞！●

## 友の会活動報告

横浜自然観察の森友の会は、横浜市が実施している表記活動賞において下記2賞を同時受賞しました。

☆ 市民の部 実践賞（5団体）

☆ 生物多様性特別賞（1団体）

横浜環境活動賞とは、地域で様々な環境活動を積極的に行っている人や団体を表彰する制度です。友の会は、第1回（25年前）に続き今回2度目の受賞で、友の会の30年間の継続的な活動の成果です。授賞式は、6月13日（木）14時から市長公舎にて行われる予定です。

友の会は、横浜自然観察の森を中心として、身近な自然とふれあい、自然を愛し、自然に学び、自然を守り、育て、自然を愛する人々を育てようということを目的としています。

### ●3月定例会報告●

日時 2019年3月17日(日) 9:00~10:45

出席者 青木、秋元、今村、大浦(司会)、落合、片岡、小島、関根(書記)、高橋、次田、中里  
西山、藤田、村松、山口、山路、吉田、渡部、掛下R、尾崎R

#### 議題

- 1 友の会の1月下旬から3月中旬までの行事報告、プロジェクト報告をしました。  
駐車場が使用できないためか、一般の方(特に親子連れ)の行事への参加が減っているようです。
- 2 6月中旬までの友の会行事予定を確認しました。
- 3 ごろすけ館利用予定を確認しました。
- 4 事務局より
  - ・新年度計画の原案を検討しました。
  - ・ゴロ報の編集担当が、山尾さんから理事の今村さんに交代しました。
  - ・車を利用している方へお願い。  
森の家入り口から観察の森駐車場までは、徐行運転を心がけてください。
- 5 新メンバーの紹介  
2月の森ボラに参加された3家族6名の方が入会しました。
- 6 センターより  
センター便りのページをご覧ください。

#### <次回の定例会>

日時 5月19日(日) 9:00~

場所 自然観察センター研修室

**定例会には、会員はどなたでも出席できます。**

### ●3月理事会報告●

日時 2019年3月17日(日) 10:55~12:50

出席者 青木、秋元、今村、大浦、落合、小島、志釜、関根、中里、中塚、西山、村松、山口、  
吉田、掛下R、尾崎R (欠席:漆原)

#### 議題

- 1 定期総会準備
  - ・30周年事業実施状況、議案・進行等について確認しました。
  - ・編集担当交代にあたり課題検討などフォロー担当2名を選出しました。
  - ・書記は統括として留任し定例会・理事会の記録係を出席者持ち回りとします。
- 2 安全管理
  - ・事故・危険情報等なし。講習会(保険等)の企画内容を確認しました。
- 3 その他
  - ・事務局内調査グループの所属会員把握について確認しました。
  - ・政策課から紹介のあったトレイルランの現場危険状況について共有しました。

#### <次回の理事会>

日時 5月19日(日) 11:00~12:30 (定例会終了次第のため前後する可能性あり)

場所 自然観察センター研修室

議題 理事役割分担、長期目標、利用推進会議、安全管理、その他

## ●第31回定期総会の報告●

日 時 2019年4月7日(日) 10:00~11:00

場 所 自然観察センター研修室

出席者 会員16名 + レンジャー2名

議 案 2018年度事業報告、決算・監査報告、2019年度事業計画、予算、理事・監事選任

定期総会が開催され、議長に渡部克哉さんを選出、議案はいずれも原案どおり承認されました。2019年度も中期計画(2016-19 ごろすけ館活用等の情報発信と保安全管理計画を活かす活動)の実施にご協力のほどよろしくお願い致します。

<2018年度報告> (人数は参加延べ人数。 ※…アライグマ捕獲罟巡回活動含む)

友の会行事	26 項目・162 回 (会員 739 人、一般 1,126 人)
センター行事支援※	7 項目・72 回 (会員 171 人、一般 1,503 人)
ネットワーク活動	4 項目・6 回 (63 人)
会議等	5 項目・21 回 (249 人)
行事報告 合計	42 項目・261 回 (会員 1,222 人、一般 2,629 人)

PJ活動	36 項目・499 回 (2,794 人)
事務局内調査等活動	4 項目・16 回 (54 人)
事務局事務	4 項目・42 回 (116 人)
PJ活動報告 合計	44 項目・557 回 (2,964 人)

<2019年度計画>

行事計画 43 項目・246 回 ※ (内、友の会行事(主催・共催) 153回)  
PJ活動計画 44 項目・559 回

<理事・監事選任>

PJ 枠 : 秋元・大浦・落合・小島・中里・西山・村松  
事務局枠 : 青木・漆原・関根・中塚・吉田  
会員公募枠 : 山口・今村  
監 事 : 大越・水上

<センターより>

レンジャー異動の報告・挨拶がありました。

森のこぼれ話

ふむふむ

## そのアオジ、去年見たあのアオジではないですか？

この森で野鳥観察を続けている私ですが、今年の冬に、この森で冬を越す小鳥、アオジ3羽を個体識別して観察を続ける事ができました。すると今まで思ってもいなかった事が見えてきたのです。今回はそうして判明した小鳥たちのお話です。

最初のアオジは、付けていた足環の番号を2016年12月に判読できた個体です。判読した番号から、2016年10月に北海道で幼鳥と判定されて放鳥された事が判明しました。この冬も足環の判読に成功し、これで3シーズン連続の確認になりました。今では目先も黒くなり、すっかり成鳥の姿です。この森では半径100m位の範囲で毎年何回も観察しており、アオジが冬季に強い土地執着性を持つ事を私に教えてくれた個体です。

自然豊かな北海道で生まれながら、遠く離れた大都会のこの森を選んで、毎年訪れてくれるなんて、なんて良い奴なんでしょう。来冬も是非戻って来てほしいものです。アオジは足環の回収記録から、最長8年2ヶ月生きた個体が記録されており、今年の冬でも4歳に満たないこの個体が戻って来る可能性は十分にある、と期待しています。

次のアオジは今年の冬に足環番号の判読に成功した個体です。やはり半径100m位の範囲を採食場にして動いている様です。この個体は2016年2月にこの森で放鳥された幼鳥オスと判明しました。放鳥者の清水さんによれば放鳥の翌年にもこの森で再捕獲されている、との事ですので、毎年この森で越冬している、と考えると間違いのない様です。

この個体は元気だったのですが、残念ながらその後、右脚が全く動かなくなっています。これに気付いた時は、間もなく落命し、もう再会は望めない、と落胆したのです。ところが、右脚は動かないままですが、その後も仲間と一緒に何回も出現し、片脚ながら元気に採食を続けています。この分では来冬の再会は十分に期待できる、と考えを改めています。

最後のアオジには足環は付いていません。この個体はこの冬に発見した時、後頭部が禿げていたのです。翌日にも同じ場所で発見でき、同じ場所に後頭部が禿げた個体は2羽もいないだろう、と観察を続ける事にしました。羽毛の回復状況を追跡できる、と考えたからです。このアオジはその後の観察経緯から、捕食生物の攻撃を受け、羽毛を失い、体が傷付きながらも辛くも虎口を逃れたもの、と推察しています。発見から1ヶ月半後には禿げた部分はかなり羽毛に覆われて来ました。しかし、その後も羽毛が生えて来ない部分が残っており、どうやら傷付いた部分には羽毛再生は望めない様です。この羽毛の少ない部分が目印となり、来冬この個体が同じ場所に戻ってくれば、再発見できるのではないかと私は期待を膨らませています。

野鳥一羽一羽を個体識別し、観察を継続すれば、それぞれの個体が持つドラマが見えてきます。そして小さな体に秘めた彼らの驚嘆すべき生命力も見えてきます。

野鳥観察にこの森へ入ったあなた。そら、そこで採食しているそのアオジ。それはあなたが去年見た同じアオジかもしれませんよ！

(カワセミファンクラブ 大浦晴壽)

## ●友の会30周年記念行事 ミニたたら体験●

日時:2月16日(土) 9:00~16:00 曇り時々晴れ

場所:横浜自然観察の森 炭小屋

参加者:親子☆ミニたたら参加者8名(2家族)、一般見学者:12名

友の会見学者:7名ほか、雑木林ファンクラブ会員

小山内栄区長(プライベート参加)をはじめ、元製鉄会社研究所員、郷土歴史研究家、刀剣職人や大手マスコミ・地域情報紙記者等、様々な方に見学していただきました(一部、製鉄作業に参加)。

たたら炉の出来栄えも上々で、ノロ(不純物)も上手く排出でき、参加した方々から歓声もあがり喜んでいただけました。

炉を解体シケラ(鋼を含む生成物)の取り出しも成功し、たたら製鉄による鉄生産の様子を体感して貰えました。後日のケラ分解で、本来意図した製鉄法(ケラ押し法)としては不完全な操業であったことが判明しました。詳細について検証中で、2018年度調査研究で報告を予定しています。

友の会の多くの方にご協力いただき、30周年記念イベントの最後を飾ることができました。ありがとうございました。

雑木林ファンクラブ 関根和彦



## ●はじめての小さな自然観察会 ●

3月24日、とてもよく晴れた日、2才~7才の子供連れの家族が午前10人、午後13人、スタッフ4人で行いました。(申込みは71人でしたが、森の家が改修工事で駐車場が使えないことがわかった時点で33人がキャンセル、当日キャンセルが15人!)

今年はハイケボタルの湿地におたまじゃくしが少なかったため、ちょっと遠出してトンボ池まで歩き、許可をもらってトンボ池のおたまじゃくしを捕まえました。例年、5才になると自分の手で捕まえられる、というのが目安だったのですが、今年は3才、4才の子も自分の手で捕まえられました。トンボ池の水が少なく、おたまじゃくしとの距離が近かったせいかもしれません。

次に、今日見たものの絵を描いて(ほとんどの子がおたまじゃくしを描くわけですが)、家から持ってきた落ち葉(この行事は、参加チケットとして家から落ち葉2枚を持ってくることになってます)や、道々拾ったタイワンリスが剥いた木の皮なんかを絵に貼り付けて、最後にみんなの絵を貼って、野外展覧会をしました。

ある3才の女の子は、来たときは泣いたり、パパに抱っこでぐずっていましたが、おたまじゃくしを捕まえているうちににこにこになり、絵を描く時には、誰よりも早く迷わずたっくさんのおたまじゃくしを描きだして、最後にはにっこにこの笑顔で帰りました。それが、観察会の様子(オトナノジジョウで言うところの「出来」)を表しているようで、スタッフ一同、元気をもらい、また来年もがんばろうねと、解散しました。

(ふじた・かおる)

## 定例行事の報告

### ●畑プロジェクト 活動報告●

3月16日は今年最後の定例行事「畑と作物を作ろう」でしたが、天気予報が雨だった所為か参加者はありませんでした。天気や予報に参加者数が左右されるのは仕方ありません。

さて昨年度に実施して皆様に一番喜ばれた作業は、ヤマイモの収穫でした。欠けのない完全な姿で取り出すのは根気と注意が必要で、掘り上げた時の達成感大きかったようです。今回掘り出したものは小さいものでしたが、今年度はもっと大きなものの収穫を期待しています。

その他に麦踏みも意外に好評でした。話には聞いたことはあっても、経験したことはないからでしょうか。

今後、山野に自生していて昔は気軽に味わう事のできた野草や木の実の栽培も手掛けたいと思っています。皆様も、奮ってご参加ください。

畑プロジェクト 落合

### ●森を守るボランティア体験(2月) 報告●

テーマ： 「冬の野鳥を観察・記録しよう」

担当： カワセミファンクラブ

実施日： 2019年2月17日(日) 9時30分～14時

参加者： 一般10名 スタッフ5名

レンジャーより森の概要説明、スタッフから友の会、各PJの説明の後、園内に出て野鳥観察を開始。今年は冬鳥が少なく心配していましたが、ノスリ、カワセミなどが出現してくれて一安心でした。

友の会設立30周年記念の一環として、園内各所でスタッフから開園当時のその場所の風景写真を提示し、参加者に現況と比較して頂き、この森の30年の成長を実感して頂きました。

無事に散会后、6名の参加者から友の会への入会申し込みを頂くことができました。

## 友の会行事のお知らせ

### ●トンボ池を掘ろう●

トンボ池では各種のトンボやヤマアカガエルが産卵し、この森の生態系を支える大事な場所の一つになっています。しかし近年、この池が干上がってしまう事も度々あります。

大切なこの繁殖場所を保全するため、会員の手で流入した土砂を掻き出しましょう。

1. 対象： 会員(中学生以上限定) 事前申し込み不要
2. 実施日時： 平成31年5月6日(月・祝) 9時10分～ 少雨決行
3. 集合場所： 自然観察センター前
4. 持ち物等： 汚れても良い服装、帽子、飲み物、軍手、可能なら長靴

担当： カワセミファンクラブ



## 友の会行事のお知らせ

### ●森の作業体験「炭焼き体験」●

炭焼き体験を行います

日時：5月18日（土） 9時～14時

集合場所： 横浜自然観察の森 自然観察センター前 8時40分

対象：小学生以上定員30名先着順 ＊中学生以下保護者同伴

服装：作業可能な服装（長袖、長ズボン、軍手、帽子）

作業に必要な用具はこちらで用意します。

お昼は味噌汁を出します。お弁当をご用意ください。

申込：下記項目を明記のうえ、

電子メール（kansatsunomori@gmail.com）またはFAXで5月10日（金）までにお申し込み下さい。

FAX番号：045-894-8892（自然観察センター）

①イベント名と日時 ②参加者全員の名前 ③お子様の年齢

④代表者の連絡先電話番号 ⑤FAXの時はFAX番号

担当：雑木林ファンクラブ

### ●2019年度 安全管理講習●

#### 「市民活動の安全と傷害保険の役割」実施予定

あらゆる市民活動において「安全はすべてに優先」することは言うまでもありません。

友の会ではこれまでも事故の発生を防ぐため安全管理意識の啓発や具体的な知識・スキルの涵養のため、毎年安全管理講習を実施してきました。また、安全管理の一環として、不幸にも事故が発生した場合に備えて、会員自身の活動や実施する行事参加者を対象とした保険をかけています。一方でこの種の保険には、公的・準公的なものや民間のもの、団体として入るもの個人で入るもの、また保障の対象によって多くの種類があります。

しかし先般、友の会が付保しているボランティア活動保険が想定するリスクをカバーできない事故の例が市内で発生しました。必要なリスクをしっかりとカバーして備えることと合わせて、無駄な保険をかけることのないように、傷害保険のしくみとその活用方法を勉強する企画です。

ただし、複数の講師予定者のうち現時点で未決の講師がおられることから候補日が2日ありますので、とりあえず「実施予定」という形でご案内を致します。日時が決定しましたら、確定の案内を致します。

タイトル： 「市民活動の安全と傷害保険の役割」

日時： 6月23日（日）または、6月30日（日） 10時～11時30分（予定）

場所： 自然観察センター研修室

講師： 1）横浜市市民局 地域活動推進課  
2）調整中

中塚（安全管理担当）

# Y OKOHAMA N ATURE S ANCTUARY NEWS 4

横浜自然観察の森・自然観察センターだより

2019年 4月号

## ☆2019年度のレンジャーです。よろしくお願ひします☆



チーフ・全体統括・  
環境管理主・環境調査担当  
**掛下 尚一郎**

若いメンバーを新たに加え、様々なハードルをチームワークで乗り越えてまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。



ウェルカムセンター事業・  
環境教育主担当  
**尾崎 理恵**

この施設の事に慣れはなく、いつも新しいことばかりです。ご支援よろしくおねがいします。

カウンターで  
お迎えます！

**岡 みつる**



環境調査主・環境管理担当  
**奴賀 俊光**

横浜3年目になりました。何か簡単にできる森の小鳥の調査でもしたいなあとは最近思っています。



環境教育・環境調査担当  
**大久保 香苗**

今年度も森での楽しい発見をお手伝いできると嬉しいです。ノート片手に一層観察力に磨きをかけます！

**佐々木 美雪**



\*\*\*はじめまして！\*\*\*



かない なつみ  
**金井 菜摘 (着任)**

はじめまして。3月まで姫路市自然観察の森でレンジャー業務の補助をしていました。生き物の中では虫(特にイモムシ)とカナヘビが好きです。観察の森でたくさんの発見をしたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひ致します。



なかざわ かずまさ  
**中沢 一将 (着任)**

今年度から新米レンジャーとして着任することとなりました。野鳥をはじめとした生きものが大好きな20歳です。皆さんと共にこの森の自然を学び守り、多くの人に伝えていけるよう頑張ります。声をかけていただけたら嬉しいです。

\*\*\*お世話になりました！\*\*\*

### 黒川麻紀野 (離任)

4年間、お世話になりました。友の会の皆さんには、かわいがっていただきありがとうございました。ときどき、森にも遊びに来ま〜す(^\_^)

### 岩淵真由美 (離任)

皆さまの活動に混ぜていただき森のいろいろなことを教えていただきました。本来なら教える糧にこれから恩返しをしなければいけないところ心苦しいばかりです。1年間本当に有難うございました。また森で会いましょう。

にがおえ：金井菜摘

### ●プロジェクト担当●

事務局 (掛下・尾崎)

畑プロジェクト (掛下・金井)

PJ-STRIX (掛下)

野草の調査と保護 (掛下・中沢)

カエル調査隊担当 (奴賀)

ハンミョウの会 (尾崎)

自然と遊ぼう担当 (大久保)

鳥のくらし発見隊 (奴賀)

雑木林ファンクラブ (掛下・中沢)

カワセミファンクラブ (奴賀)

森の絵本づくりの会 (大久保)

定点カメラで動物調査 (大久保)

植生図(掛下)

モニ1000(掛下・奴賀)

ゴロ報担当 (大久保)



## 【報告】 保安全管理フォローアップの会 (3/21)

3月21日におこなったフォローアップの会は、藤田剛先生(東大助教・友の会会員)を招き、「管理された森」と「管理されていない森」での野鳥の出現状況の違いを知る調査をおこない管理の効果を測る実習をしました。今回の調査結果などの詳細は今秋に発行予定の「横浜自然観察の森調査報告24(仮)」で報告する予定です。(友の会6名、市1名、レンジャー2名参加。)

## 【参加者募集】 保安全管理フォローアップの会 (5/11) 「植生の勉強会」

次回フォローアップの会は“植生の勉強会”です。5/11(土)13時~16時におこないます。昨年のピクニック広場における秋の植生図づくりの続きで、講師には中村幸人先生(東京農大名誉教授)を招き、昨年のフィードバックと春の植生図づくりのための調査をおこないます。奮ってご参加ください。

## 【報告】 アライグマ(特定外来生物)の捕獲7+巡回結果報告

12月4日から3月14日の期間に実施したアライグマの捕獲事業では、アライグマ14頭とタイワシリリス17頭を捕獲しました。今シーズンは、神奈川県の実務でアライグマ専用の捕獲ワナ(タヌキやネコなどの錯誤捕獲を防ぎアライグマに特化したワナ)を2基試験導入しました。このワナでは4頭の捕獲と錯誤捕獲なしの成果も得られました。巡回やワナの設置、疥癬症のタヌキの搬送(1頭)には、今回も友の会有志のべ48名の方にご協力いただきました。どうもありがとうございました。

【募集】イベントサポーター！森の魅力一緒に伝えましょう。各回2名以上のサポーター募集中です。

### ●森のクイズラリー

日時：4月28日(日)~5月4日(土)10:30~15:00

スタートとゴールの受付やポイントでのクイズ解説、参加者の案内などをお願いします。

◎集合：9時半 自然観察センター研修室 ◎解散：16時過ぎ ※部分参加OK

### ●ゲンちゃんハイちゃんの紙芝居劇場

日時：6月8日(土)、15日(土)、22日(土)19:00~20:00 (雨天の場合は翌日)

ホテルの観察マナー普及のための紙芝居の上演、上演補助や、来園者誘導などをお願いします

◎集合：17時半 自然観察センター研修室 ◎解散：20時過ぎ

くいずれも、レンジャー大久保までご連絡ください！E-mail：ohkubo@wbsj.org>



ホランシアさん

\*\* 2/1~3/31 \*\*

ありがとう

2/1~ カワセミファンクラブのみなさま 自然情報のご提供

2/1~ 野草の調査と保護プロジェクトのみなさま 開花情報のご提供

2/10、3/10 鳥のくらし発見隊のみなさま 野鳥情報の提供

2/13、27 雑木林ファンクラブ 片岡章さん ストーブ用薪のご提供

2/23 雑木林ファンクラブ 片岡章さん 三村肇さん 山田靖彦さん

CSR 活動受け入れへのご協力

11月~3月 今村修さん 大浦晴壽さん 岡田昇さん 落合道夫さん 石川裕一さん

岸本道明さん 中里幹久さん

特定外来生物アライグマ防除へのご協力

行先：大久保香苗

横浜自然観察の森 自然観察センター (月曜休館・祝日の場合はその翌日)

〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1 TEL:045-894-7474/FAX:045-894-8892

E-mail:yokohama-nc@wbsj.org <http://www.wbsj.org/sanctuary/yokohama/>

★5月7日(火)と8日(水)は休館日となります。

★上郷・森の家の改修にともない、車での来園ができません。ご注意ください。

# 行事スケジュール 4月～6月

■：センター行事  
●：友の会行事  
★：共催行事

## ●友の会 季節行事●

### ●トンボ池を掘ろう

5/6 (月・祝) 9:10～ 少雨決行  
対象：会員 (中学生以上限定) 申し込み不要  
集合：自然観察センター前

### ●森の作業体験 (炭焼き体験)

5/18 (土) 9:00～14:00  
対象：小学生以上 (中学生以下保護者同伴)  
申込必要 定員30名先着順  
申込締切 5/10 (金)  
集合：自然観察センター前 8:40  
申込方法など詳細は、友の会行事のお知らせページを参照ください。

### ●2019年度 安全管理講習

6/23 (日) もしくは6/30 (日)  
10:00～11:30 (予定)  
タイトル：市民活動の安全と傷害保険の役割  
場所：自然観察センター研修室  
日時が決定しましたら確定の案内をいたします。

## ●自然観察センター主催行事●

### ■森のクイズラリー

鳥のさえずりを聞き、オタマジャクシや花に会いながらクイズに挑戦しよう。  
開催日：4/28 (日)～5/4 (土)  
受付時間：10:30～15:00  
所要時間：60分程度  
対象：どなたでも (小学生以下は保護者同伴)  
当日受付、申込不要

### ■つながりの森を歩こう

観察の森から瀬上市民の森まで歩きます。  
日時：5/26 (日) 10時 雨天延期：6/1 (土)  
対象：中学生以上 30名 (抽選)  
申込：HP またはチラシ参照 締切：5/16 (木)

### ■ゲンちゃん・ハイちゃんの紙芝居劇場 (ホタルの観察会)

日時：6/8 (土)、6/15 (土)、6/22 (土)  
19:00～20:00 (雨天は翌日)  
集合：17:30 自然観察センター研修室  
対象：どなたでも (小学生以下は保護者同伴)  
申込不要

## ●友の会 定例行事●

### ●季節の森を歩こう (園内の自然案内)

～季節の変化や生き物のつながりを楽しみながら～  
5/5 (日)・6/2 (日)  
1回目 11:00～ 2回目 13:00～  
受付：30分前から 自然観察センター前にて  
対象：どなたでも  
担当：森の案内人・ハンミョウの会 毎月第1日曜

### ●みんなでバードウォッチング (野鳥観察)

～のんびり楽しむバードウォッチング～  
5/12 (日)・6/9 (日)  
9:00～13:00 少雨決行  
受付：自然観察センター前にて 対象：どなたでも  
担当：鳥のくらし発見隊 毎月第2日曜

### ●森の絵本を楽しもう

～簡単ミニ絵本づくりと読み聞かせ～  
5/15 (水)・6/19 (水)  
10:30～12:00 絵本製作  
受付：ボランティアルーム 対象：どなたでも  
担当：森の絵本づくりの会 毎月第3水曜

### ●定点カメラで動物調査

6/8 (土)  
9:30～12:00  
※雨天の場合、日程を変更する可能性あり。センターに確認のこと。  
対象：友の会会員向け  
持ち物：汚れても良い、白っぽい服、動きやすい靴で。タオル、水筒持参  
集合：ゴロスケ館集合  
6月～11月の毎月第2土曜日

### ●畑と作物をつくろう

～生き物にあふれた畑を目指して～  
5/18 (土)・6/15 (土)  
10:00～12:00 雨天中止  
受付：自然観察センター前にて 対象：どなたでも  
担当：畑プロジェクト 8月を除く毎月第3土曜日

### ●自然と遊ぼう (園内の自然案内)

～ゲーム感覚で、あそびながら自然とふれあい～  
5/25 (土)・6/22 (土)  
13:30～14:30  
(※2019年度も1日1回の開催になります。)  
受付：30分前から 自然観察センター前にて  
対象：子どもから大人までどなたでも  
担当：自然と遊ぼう 毎月第4土曜

発行日 2019年4月21日  
発行 横浜自然観察の森友の会  
F A X 045-894-8892  
E-mail: kansatsunomori@gmail.com